

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 17 年 9 月 2 日 (2005.9.2)

【公開番号】特開 2004-30292 (P2004-30292A)
 【公開日】平成 16 年 1 月 29 日 (2004.1.29)
 【年通号数】公開・登録公報 2004-004
 【出願番号】特願 2002-186335 (P2002-186335)
 【国際特許分類第 7 版】

G 0 6 F 9/445

G 0 6 F 19/00

【F I】

G 0 6 F 9/06 6 1 0 A

G 0 6 F 19/00 1 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 2 月 24 日 (2005.2.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の性能保証対象コンピュータと監視サーバとシステム構成導出装置とからなるコンピュータシステムにおいて、前記システム構成導出装置のシステム構成導出方法は、

前記監視サーバから取得したコンピュータシステムへの処理要求発生頻度とコンピュータのシステム構成とから処理要求を出してからその処理が終了するまでの応答時間を予測し、

システム構成からその価格を計算し、与えられた応答時間 A と処理要求全体に対してその応答時間が A 以上となる処理の確率として与えられた確率 B とに対して、確率が B 以下となるシステム構成のうち、最も安価なシステム構成を導出することを特徴とするシステム構成導出方法。

【請求項 2】

複数の性能保証対象コンピュータと監視サーバとシステム構成導出装置とからなるコンピュータシステムにおいて、前記システム構成導出装置のシステム構成導出方法は、

前記監視サーバから取得したコンピュータシステムへの処理要求発生頻度とコンピュータのシステム構成とから処理要求を出してからその処理が終了するまでの応答時間を予測し、

システム構成からその価格を計算し、与えられた応答時間 C と処理要求全体に対してその応答時間が C 以下となる処理の確率として与えられた確率 D とに対して、確率が D 以上となるシステム構成のうち、最も安価なシステム構成を導出することを特徴とするシステム構成導出方法。

【請求項 3】

複数の性能保証対象コンピュータと監視サーバとシステム構成導出装置とからなるコンピュータシステムにおいて、前記システム構成導出装置のシステム構成導出方法は、

前記監視サーバから取得した情報とコンピュータシステム構成から応答時間を予測し、

システム構成からその価格を計算し、処理要求を出してからその処理が終了するまでの応答時間として与えられた応答時間 A、処理要求全体に対してその応答時間が A 以上となる処理の確率として与えられた確率 B 及びジョブの処理要求の到着率 E に対して、応答時

間が A 以上である確率が B 以下であるシステム構成のうち、最も安価なシステム構成を導出することを特徴とするシステム構成導出方法。

【請求項 4】

複数の性能保証対象コンピュータと監視サーバとシステム構成導出装置とからなるコンピュータシステムにおいて、前記システム構成導出装置のシステム構成導出方法は、

前記監視サーバから取得したコンピュータシステムへの処理要求発生頻度とコンピュータのシステム構成とから処理要求を出してからその処理が終了するまでの応答時間を予測し、

システム構成からその価格を計算し、与えられた応答時間 A と処理要求全体に対してその応答時間が A 以上となる処理の確率 B とに対して、確率が B 以下となるシステム構成のうち、最も安価なシステム構成を導出し、導出された結果に基づいて、動的にシステム構成を変更することを特徴とするシステム構成導出方法。

【請求項 5】

前記動的なシステム構成の変更は、予備のシステム構成要素を起動あるいは停止させることにより行われることを特徴とする請求項 4 記載のシステム構成導出方法。

【請求項 6】

複数の性能保証対象コンピュータと監視サーバとシステム構成導出装置とからなるコンピュータシステムにおいて、前記システム構成導出装置は、

前記監視サーバから取得したコンピュータシステムへの処理要求発生頻度とコンピュータのシステム構成とから処理要求を出してからその処理が終了するまでの応答時間を予測する手段と、

システム構成からその価格を計算する手段と、与えられた応答時間 A と、処理要求全体に対してその応答時間が A 以上となる処理の確率として与えられた確率 B とに対して、応答時間が A 以上である確率が B 以下となるシステム構成のうち、最も安価なシステム構成を導出する手段とを備えたことを特徴とするシステム構成導出装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

【課題を解決するための手段】

本発明によれば前記目的は、複数の性能保証対象コンピュータと監視サーバとシステム構成導出装置とからなるコンピュータシステムにおいて、前記システム構成導出装置のシステム構成導出方法は、前記監視サーバから取得したコンピュータシステムへの処理要求発生頻度とコンピュータのシステム構成とから処理要求を出してからその処理が終了するまでの応答時間を予測し、システム構成からその価格を計算し、与えられた応答時間 A と処理要求全体に対してその応答時間が A 以上となる処理の確率として与えられた確率 B とに対して、確率が B 以下となるシステム構成のうち、最も安価なシステム構成を導出することにより達成される。